

## 5月16日(木) 自立教育部門I「蝶結びの支援グッズ」

蝶結びの支援グッズの紹介です。

蝶結びは、日々の生活で必要とされる場面がたくさんあります。簡単そうな蝶結びですが、少し練習が必要な技能です。特に、エプロンを使う実習現場では欠かせない技能です。

<用意するもの>

60cm程度のひもを2本。それぞれ素材や色、形が違うもの2種類。

例えば、1本は平織りの平たいもので、もう1本は、丸みのあるロープ状のもの。感触で左右の違いが分かるからです。それぞれ色が違うとよい。

その2本を堅結びでつないで1本にして、蝶結びの練習をします。

(例)



### \*実習\*

座位でひもの結び目を<sup>もも</sup>大腿とイスの間に挟んで、<sup>もも</sup>大腿の左右からそれぞれひもを出しておく。

<注釈>

**★確認**・・・縦結びにならないようにするためやその子のやり易い方法を確認

**ポイント**・・・動作しやすくするためのポイント

#### ①ひと結びをする。



**★確認1**

左右どちらのひもを上側にするか、下側にするか、その子のやり易い方法があるので見ておく。

#### ②「くるりんぱ！」



**★確認2**

上側に伸びる方と下側に伸びる方を確認する。



**ポイント1** (難易度 ★)

このときに、ひもの端を持つより、結んだ場所に近い場所のひもを持つ。

**ポイント2** (難易度 ★★)

中指、薬指、小指でひもを持つと次の動作がしやすい。

③人差し指と親指で 一方のひもの端を 輪にして 持つ。(輪にしたひもをAとする)



**★確認3**

上側に伸びた方を丸めるのか、下側に伸びた方か、これもその子のやり易さがある。

④輪にしたひもに もう一方の側のひもを 巻き付ける。(巻き付けるひもをBとする。)



**★確認4** 巻き付ける方向で縦結びか横結びかになる。

下から巻き付けるのか、上から巻き付けるのか

…A が上から伸びた方なら、B は下から上に巻き付ける。

…A が下から伸びた方なら、B は上から巻き付ける。

⑤B のひもを A とひと巻きした土台の間に 輪にしながら通す。

**ポイント3** このときに、左右のそれぞれの輪を交換しながら持ち替える。(難易度 ★★★)

つまり、左手のAと右手のB ⇄ 左手のBと右手のA

⑥左右に引き締めて完成。

追加1… 縦結びの直し方

①の時点で、左右どちらのひもを上にするか

④の時点で、上から巻き付けるか、下から巻き付けるか

\*縦結びになったら、この2つの時点のどちらかに戻り、反対の置き方や巻き方にする。

追加2… 結び目がきれいになるリボン結び

④の時点で、巻を2重にして、2重目(上)になった方を下になった輪の中をくぐらせてから引きぬく

